

変更(追加)内容一覧

章	素案 ページ数	大項目	小項目	変更(更新)内容			
1	1	1 計画の目的		・無し			
		2 計画の位置づけ		・記述の整理			
		3 計画の期間		・記述の整理			
2	4	1 高齢者の動向	① 高齢化の進行	・図1について、平成27年度データを住民基本台帳から国勢調査のデータに変更			
			② 高齢者のみの世帯の増加	・図2について、平成29年版高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画のデータに変更 ・図3について、平成27年のデータを追加			
			③ 同居している家族の構成	・無し			
			④ 高齢者と子ども世帯との近居	・無し			
			⑤ 要介護・要支援認定者の増加	・図6について、平成29年版高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画のデータに変更			
			2	8	2 高齢者の住まいの状況	① 住宅の戸数は充足	・無し
						② 高齢者世帯の住まいには持ち家が多い	・無し
③ 高齢者世帯の住まいには建築時期の古い住宅が多い	・無し						
④ 高齢者の住まいは一戸建・長屋が多い	・無し						
⑤ 高齢者世帯の住宅は延床面積の広いものが多い	・無し						
⑥ 高齢者世帯の住まいの全体像	・無し						
⑦ 市営住宅の募集と応募状況	・図15について、平成28年度のデータを追加						
⑧ 居住面積水準は比較的満たしている	・無し						
⑨ 高齢者等のための設備がある住宅は増加	・無し						
⑩ 手すりの設置、段差解消は増えている	・無し						
⑪ パリアフリー住宅の不足	・無し						
⑫ 高齢者向け改修は限定的	・無し						
	19-24	3 サービス付き高齢者向け住宅 に入居している高齢者の特性		・【参考：高齢者向け住まいの概要】について、平成29年10月1日現在に更新 ・■シルバーハウジングプロジェクトについて、課題及び他市事例の記載を追加			
	25	4 住まいに係る高齢者の意識	① 今の住まいに住み続けたい人が多い	・図33について、H28年高齢者生活実態調査のデータに更新			
			② 住み替えに関する課題	・図34について、H28年高齢者生活実態調査のデータに更新			
			③ 在宅介護サービスへの期待は大きい	・図35について、H28年高齢者生活実態調査のデータに更新			
			④ 介護度が高いほど介護施設に申し込む割合が高くなる	・図36について、H27計画では、「介護施設への申し込み状況(H25高齢者生活実態調査)」のデータを記載していたが、H28高齢者生活実態調査において同様の質問がなかったため、類似する質問として、「要介護認定を申請した理由」の問において、「介護保険施設等の利用申込みをするため」と回答した割合を記載した。			
			⑤ 介護・介助が必要になった主な原因	・図37、38について、H28年高齢者生活実態調査のデータに更新			
	29	5 高齢者の生活状況	① 所得の低い高齢者世帯が多い	・無し			
			② 高齢者世帯は他の世帯に比べ所得が低い	・図40、41について、H28年国民生活基礎調査のデータに更新			
			③ 収入と預貯金額	・図42、43について、H28年高齢者生活実態調査のデータに更新			
	32	6 マンションにおける高齢化	① マンションにおける高齢化の状況	・無し			
			② マンションにおけるバリアフリー状況	・無し			
	34-35	7 地域別の状況	① 高齢化率は、「北部」「中部」で高く、「南部」「西部」で低い	・図48、49について、住民基本台帳よりH28、29のデータを追加			
			② 高齢者は「北部」「東部」に多い	・図50について、住民基本台帳よりH27からH29へデータを更新			
			③ 65歳以上を含む世帯の割合は、「北部」と「中部」に多く、高齢単独世帯は「東部」と「南部」に多い	・図51について、H27年国勢調査のデータに更新			
			④ 北部では持ち家の割合が高く、南部では民営借家の割合が高い	・無し			
			⑤ 中部、北部で築年の古い住宅の割合が高く、南部では築年の新しい住宅の割合が高い	・無し			

変更(追加)内容一覧

章	素案 ページ数	大項目	小項目	変更(更新)内容
	38	8社会経済の変化に対応するための課題	①要介護・要支援者のさらなる増加	・無し
	38		②住宅に困窮する高齢者の増加	・無し
3	39	1住宅の質の向上		・「一定のバリアフリー化」についての記載を追加
	40	2多様な住まいの確保		・サービス付き高齢者住宅及び空き家の利活用等の記載を追加
	40-41	3居住の支援		・無し
4	42	1基本理念		・無し
	43-44	2基本的な視点		・無し
	45	3基本目標		・無し
5	47	基本目標1	(1)住宅のバリアフリー改修に関する情報提供、相談	・記述の整理
	47		(2)自立支援のための住宅のバリアフリー化等の支援	・記述の整理・具体的な周知活動(シルバーリハビリ体操)の記述を追加
	47		(3)分譲マンションの共用部分のバリアフリー化等の支援	・出前セミナーの記述を追加
	48		(4)高齢者向けの住宅改修の促進	・記述の整理
	48		(5)賃貸住宅のバリアフリー化の促進	・新しい住宅セーフティネット制度(登録住宅改修の情報提供)の記述を追加
	48		(6)高齢化しているマンション管理組合の支援	・建築士派遣についての記述を追加
	49	基本目標2	(1)市営住宅の計画的な供給	・緊急通報装置についての記述を追加
	49		(2)質の高いサービス付き高齢者向け住宅の供給	・タイトルの変更(サービス付き高齢者向け住宅の供給誘導→質の高いサービス付き高齢者向け住宅の供給)市街地区域誘導、情報発信の項目を削除 医療介護連携等の記述を追加
	49		(3)親・子世帯近居同居の支援	・記述の整理
	50		(4)高齢者施設の計画的な供給	・記述の整理
	50		(5)空き家等の有効活用	・記述の整理 ・新しい住宅セーフティネット制度の記述を追加
	51	基本目標3	(1)情報提供体制の構築	・記述の整理
	51		(2)持ち家の活用	・記述の整理
	51-52		(3)高齢者住み替え支援	・記述の整理 住みいるサポート船橋の記述の追加
	52		(4)ひとり暮らし高齢者の見守り	・タイトルの変更(ひとり暮らし高齢者見守り活動支援→ひとり暮らし高齢者の見守り) ・記述の整理 (高齢者福祉課・地域福祉課)
	52		(5)居住支援の仕組みの構築	・居住支援協議会、住みいるサポート船橋の記述を追加
	53		参考指標一覧	・各施策の数値目標の一覧を追加
6	54-55	1高齢者向け住宅と施設の供給目標		・■第7期介護保険事業計画による施設整備について、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を基にデータを記載
	55-56	2居住支援協議会の活動		・全体的に変更
	57	3地域包括ケアシステムと連携した住宅政策の推進		・★国が示す地域包括ケアシステム構築のための重点取組事項について、介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画に合わせて変更
資料編	58-59	(1)高齢者居住安定確保計画策定経緯		・改定委員会の内容を追加
	60-61	(2)船橋市高齢者居住安定確保計画策定委員会委員名簿		・改定委員会の内容を追加